那珂八幡古墳（福岡市）

ここは那珂八幡宮/那珂八幡古墳の後円部の墳頂に鎮座している/北側から見たところ

video

この説明板には4世紀はじめの首長墓と記されているが・・・

史跡　那珂八幡古墳

市指定　平成４年３月23日

那珂八幡古墳は、那珂から比恵にかけての広大な台地上にあり福岡平野の前方後円墳の中で最も古い古墳である。

古墳の大きさは推定全長85ｍ、後円部の直径約50ｍ、後円部の高さ15ｍである。

後円部の埋葬施設が割竹形木棺であり、その中に副葬された三角縁神獣鏡などの出土遺物から、この古墳は福岡平野の最古の首長墓（４世紀はじめ）と考えられる。

一、許可なくして史跡指定地域内を発掘ならびに破壊しないこと。
二、許可なくして樹木の伐採をしないこと。
三、その他、史跡指定地域内の現状を変更する一切の行為は、文化財保護条例による許可を要します。

みんなの文化財を大切にしましょう。　　平成６年３月

福岡市教育委員会

THE NAKAHACHIMAN BURIAL MOUND MUNICIPALLY DESIGNATED HISTORICAL SITE

March 23, 1992

The Nakahachiman burial mound is located in the vast plains between the towns of Naka and Hie. It is the oldest tomb among the ancient burial mounds in the Fukuoka plains. It is square at the head and rounded at the foot.

The full length of the ancient tomb is estimated to be 85 meters long. The diameter of the rounded part at the foot is approximately 50 meters and 15 meters high.

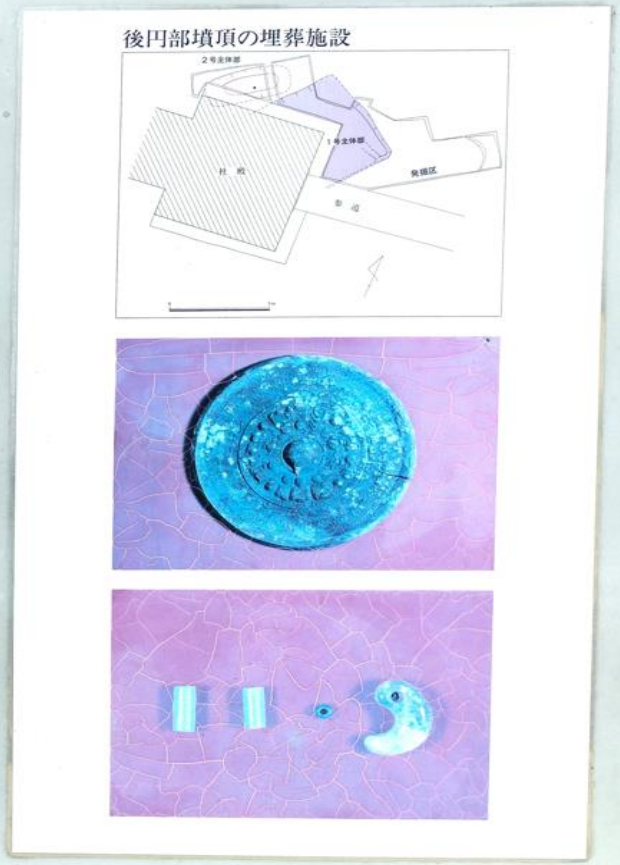
The burying facility in the rounded part at the foot contains a wooden splitlog type coffin. From the personal belongings excavated from this tomb, such as the mirror decorated with sacred animals with a raised rim, it is thought to be the oldest tomb on the Fukuoka plains of a local chief from the beginning of the 4th century.

1. It is prohibited to excavate or destroy any items within an area designated as a historical site without permission.
2. Cutting down trees without permission is prohibited.
3. Also, an act which would change the present condition within the area designated as a historical site needs permission in accordance with the Cultural Properties Protection Act.

Protect cultural properties of ours.

March 1994

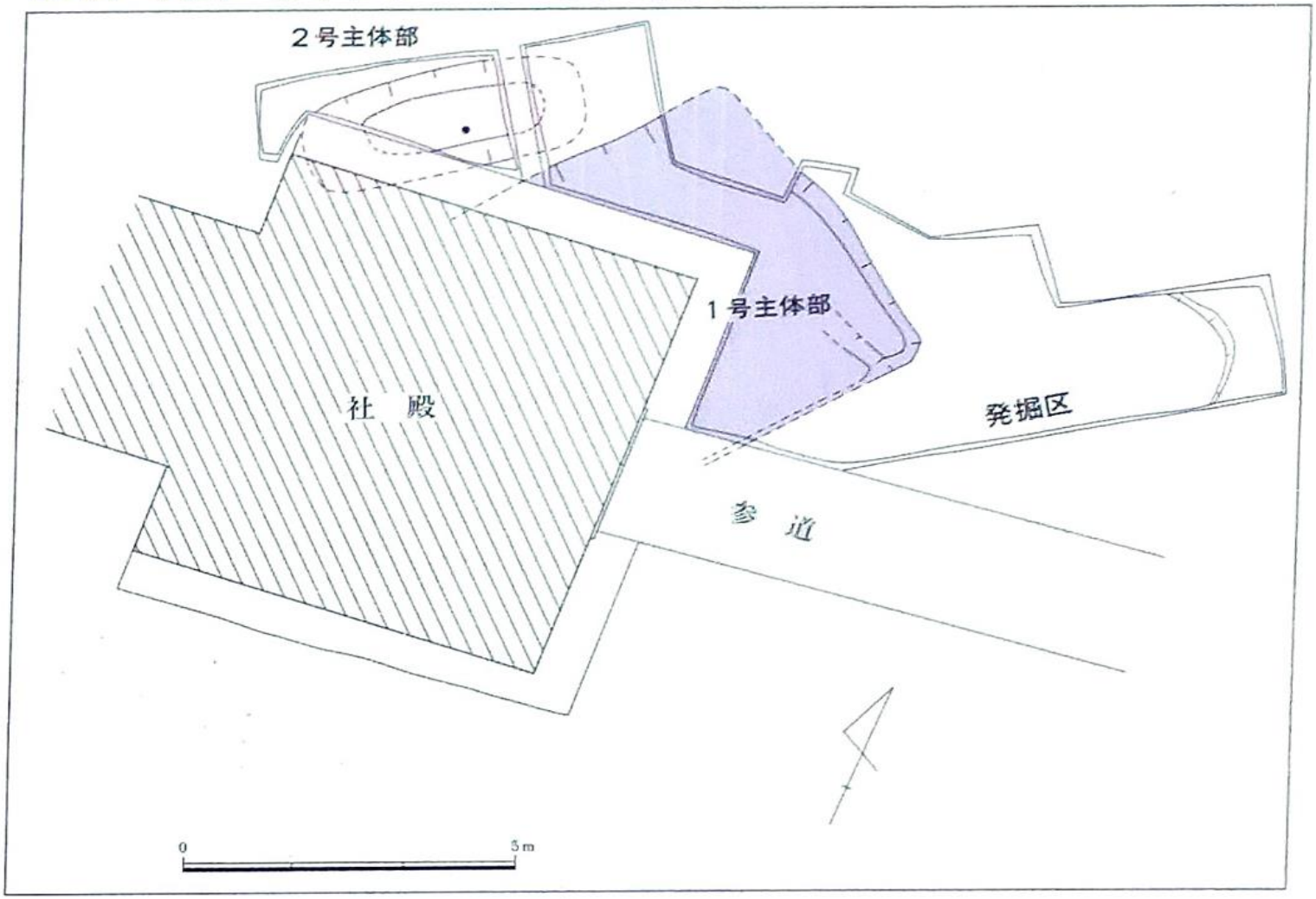
Fukuoka City Board of Education



文化財を守りましょう

主体部が二ヶ所あるようだ

後円部墳頂の埋葬施設



那珂八幡宮縁起にも、ここが前方後円墳であることが言及されているが、4世紀前半の築造とされている

那珂八幡宮縁起

祭神

八幡神（誉田別尊＝応神天皇）
神功皇后（気長足姫尊＝応神天皇の母）
玉依姫（竈門神＝神武天皇の母）

八幡神は、欽明天皇三十二年（西暦五七一年）宇佐の御許山に出現し、そのあと菱形山の現在地に祀った宇佐神宮が根本である。

八幡信仰は、天平時代（八世紀半ば）から王城鎮護の神の信仰としてはじまり、鎌倉幕府の開府以後（十二世紀末）からは武神として崇められ、武士団の全国浸透につれて八幡神が各地に勧請され、土地の産神として祀られるようになった。

神社の西麓には元宮と称するところがあるが、那珂八幡宮の祭祀のはじめはわからない。

いま、この祭地は、昭和六十年三月から七月にかけての調査で、全長七十五米、後円部直径約四十七米の、四世紀前半に築かれた九州では最古式の、前方後円墳の墳頂にあることが確認された。

福岡平野では最大級といわれる古墳の主体部は、社殿の下にあるため構造は不明であるが主体部の北側より出土した木棺墓からは青銅製の三角縁神獣鏡一面、硬玉製勾玉一個、碧玉製管玉二個、ガラス製小玉一個が出土した。

その他の出土物には銅戈鋳型片（弥生中期）、弥生時代の土器や鎌倉時代の土師皿、石鍋などがある。

那珂八幡宮の大祭

春の大祭　四月十五日
秋の大祭　十月十五日

墳丘を時計回りに回ってみよう/これは北西側から後円部を見たところ

video

そこで、右手（前方部方向/南方向）を見たところ

西側から後円部を見たところ/右手が前方部

video

南側から前方部（削平されて駐車場となっている）と、その後ろに後円部（木々が生い茂っている部分）を見たところ

南東側に回ると、小さな鳥居が立っていた/左手の駐車場の部分が前方部だったところ

video

神額に武内大神とある

鳥居を潜って右手（後円部）を見たところ

video

左手のコンクリートの覆屋が武内大神の社殿のようだ

階段を登ると那珂八幡宮の社殿が見えて来た

video

さて、元の場所に戻って墳頂に登ってみよう

video

後円部墳頂に鎮座する那珂八幡神社

video

ここは拝殿か・・・

奉納
那珂宮総代
令和五年元旦
奉納
那珂宮総代
令和六年元旦
那珂子供中
平成廿二年元旦
那珂子供中
平成廿六年元旦
平成十九年元旦
八幡神社

正面の辺りが1号主体部/右手に石碑が立っている

これがその意味なのか・・・

video

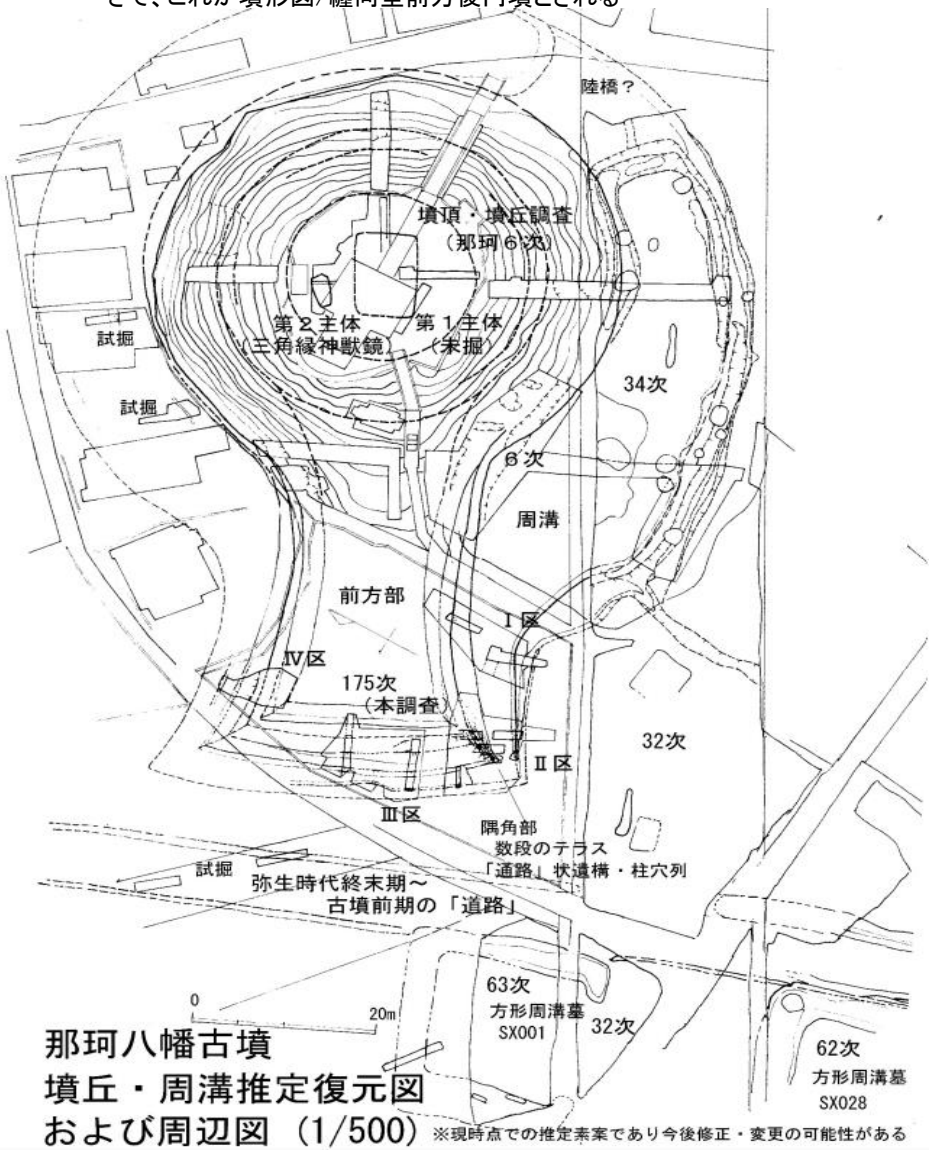
正面の辺りが2号主体部/標柱が立っている

video

これがその意味なのか・・・

video

さて、これが墳形図/纏向型前方後円墳とされる



那珂八幡古墳
墳丘・周溝推定復元図
および周辺図（1/500）※現時点での推定素案であり今後修正・変更の可能性がある

那珂八幡古墳確認調査（那珂遺跡群第 175 次調査）現地説明会資料

平成 31 年 2 月 16 日（土）
福岡市経済観光文化局埋蔵文化財課

１．調査の成果

①以前の発掘調査や試掘調査では不明確だった前方部周溝の形状や規模がより明確になり、古墳全体の規模，形状がより正確に推定できるようになった。

②推定される古墳の規模は，全長 86.0～86.4ｍ，後円部径 51.5～52.5ｍ，前方部長 34.0～34.4m，前方部前端幅 32.0～32.7ｍである。（全長は前方部前端線（周溝下端）の判断が難しく，推定値。）

③古墳全体の形状は，当初推定されたいわゆる「纒向型」（後円部径：前方部長＝２：１）ではなく，後円部径：前方部長＝８：５の，北部九州に多い類型である。

④前方部南側側縁部の形状は直線的ではなく，後円部から一度細くくびれて隅角部に向かってゆるやかに広がる。この形状は比較的古い古墳に多い。

⑤前方部前端の形は直線的ではなく，おおむね弧状を描くと考えられる。これは，出現期の古墳に多い特徴である。

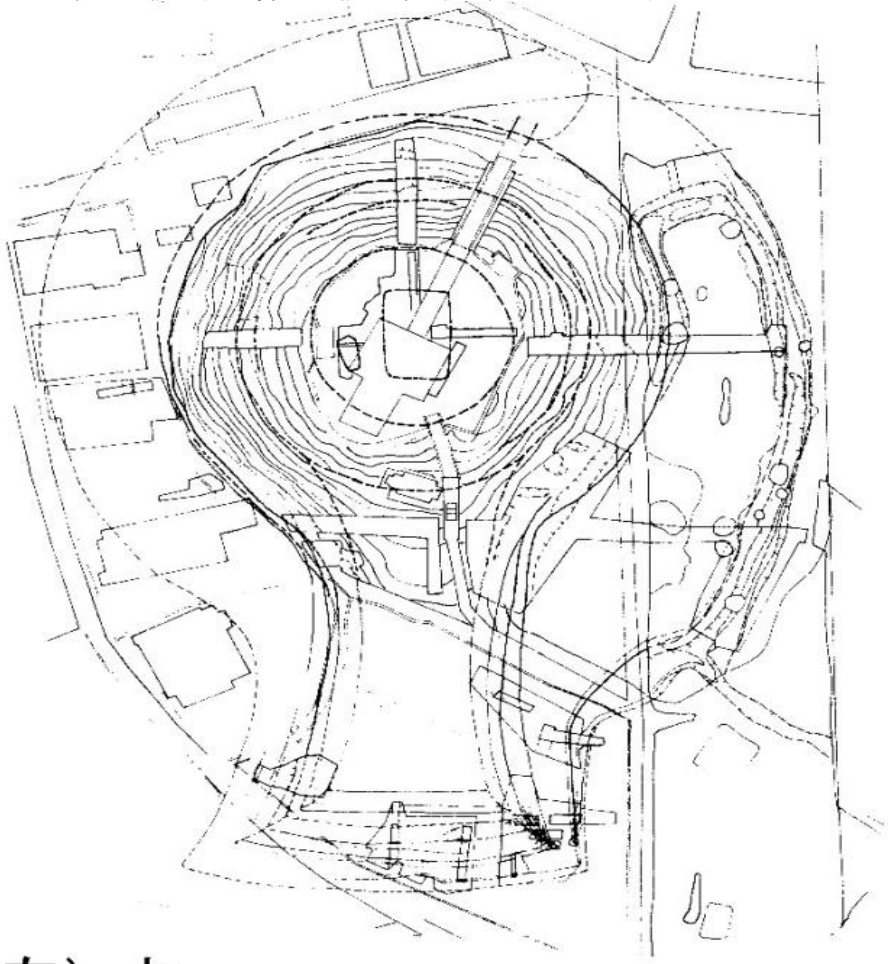
⑥前方部南側隅角は，稜線の南側（側縁側）に数段の平坦面があり，上部の狭いテラスには柱穴列があることから，その下の平坦面は「通路」とも考えられる。前方部ないし「突出部」に通路状の施設を持つものは，出現期の前方後円墳や弥生時代後期後半～終末期の「墳丘墓」にある。那珂八幡古墳が「弥生墳丘墓」から「古墳」への過渡期に築造されたことを示唆している。
⑦前方部南側周溝外縁部は，斜面途中に平坦面がある２段掘りで，後円部南側周溝外縁部で確認された状況と類似している。

２．調査成果からみた那珂八幡古墳の意義
①古墳の時期は，墳頂部や後円部南側周溝下層から出土した土器から，古墳時代初頭，あるいは弥生時代終末期から古墳時代初頭の過渡期の時期のもので，福岡平野あるいは九州最古の古墳の可能性がある。
②今回の調査により，「纒向型」とも推定されてきた那珂八幡古墳は，それとは異なる墳丘比率（後円部径：前方部長）であることが確実となった。
　「８：５」という比率は，北部九州の有力な前期古墳の多くに採用されている。那珂八幡古墳は，より古い段階の築造であり，時期的にこれらの墳丘規格の祖型となった可能性がある。

「那珂八幡古墳確認調査（那珂遺跡群第175次調査）現地説明会資料 /平成31年2月16日（土）/福岡市経済観光文化局埋蔵文化財課」より

現地説明会資料/新たな発掘調査によると、後円部径と前方部の長さの比率がほぼ2:1とされる纒向型前方後円墳よりも前方部が少し長い（8:5）ということらしい

（「纒向型」をモデルとする案：概報段階・文献①に加筆）



那珂八幡古墳の従来の復元案（左）と、今回の調査に基づく復元案（右）

最新の研究によると、畿内のいわゆる「纒向型前方後円墳」も、3世紀前半に「纒向型」から「定形型」への「定形化」のプロセスが見られると云う/言い換えれば「纒向型前方後円墳」は後円部径と前方部の長さの比率がほぼ2:1とされていたが、「定形化」をしている古墳が認められるということのようだ/だとすれば、那珂八幡古墳も「纒向型前方後円墳」の範疇に入るものと考えても良いのではなかろうか

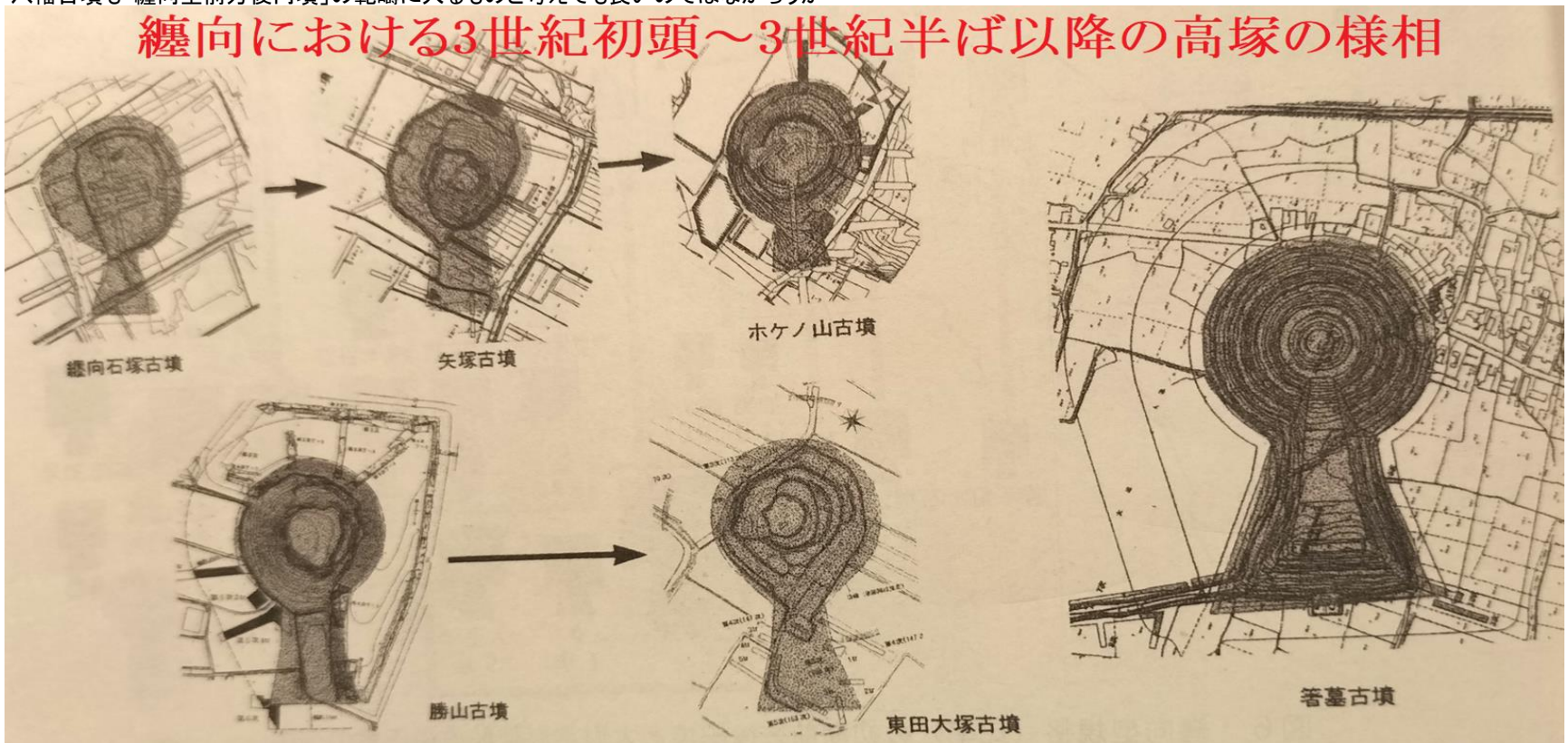
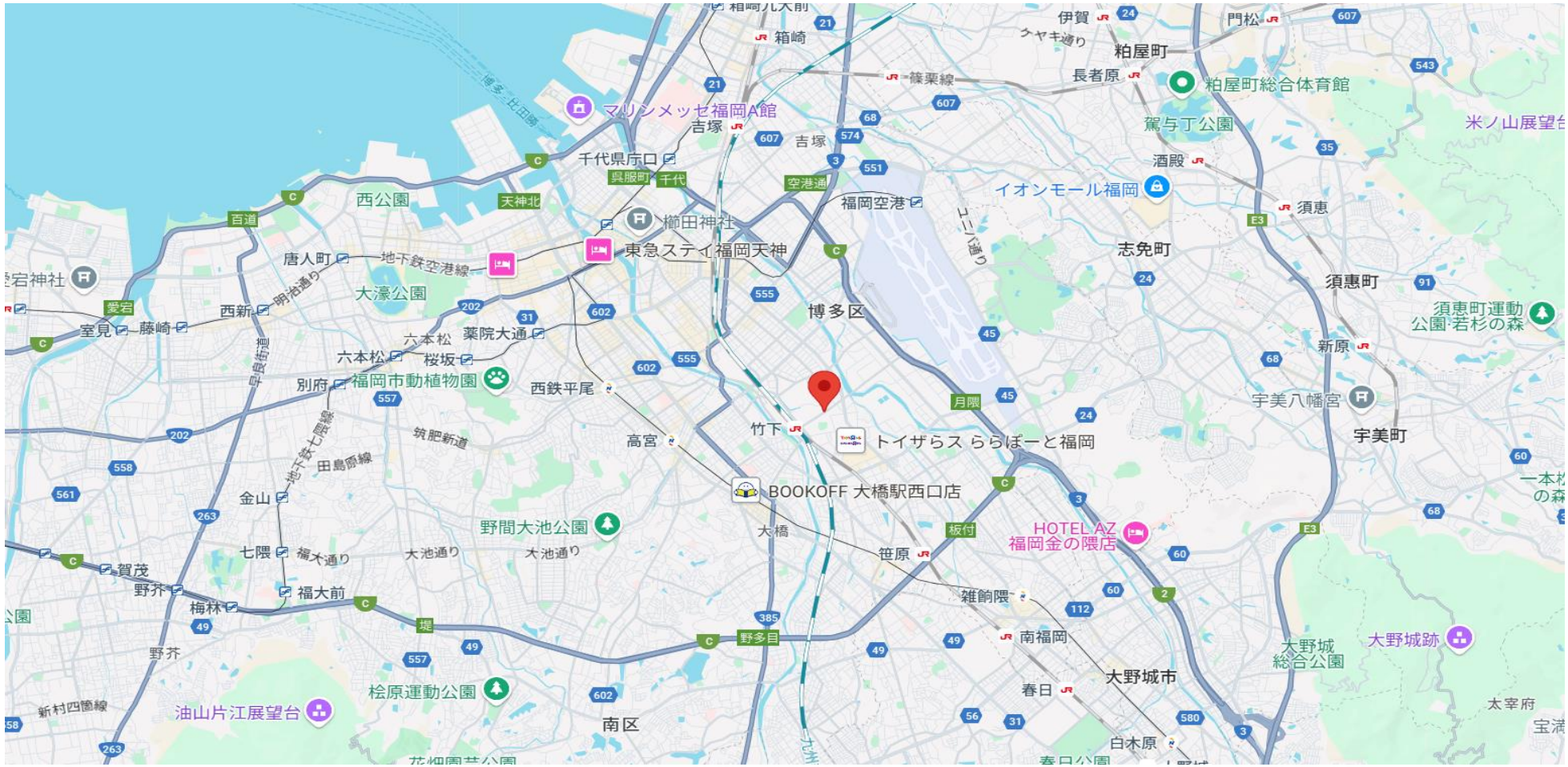


図10　纒向遺跡における「纒向型」と「定形化」、「定形型」

2023年11月25日　東京フォーラム 「前方後円墳創生」の配布資料に一部（赤字）加筆

なお、「高塚」とは高い墳丘墓＝古墳のこととし、それまでの低い弥生墳丘墓とは一線を画するとした表現とお考え下さい！


箱崎
伊賀
門松
粕屋町
長者原
粕屋町総合体育館
篠栗線
マリンメッセ福岡A館
吉塚
千代県庁口
呉服町
千代
空港通
福岡空港
櫛田神社
東急ステイ福岡天神
西公園
天神北
百道
唐人町
地下鉄空港線
明治通り
大濠公園
室見
藤崎
西新
六本松
薬院大通
桜坂
福岡市動植物園
別府
西鉄平尾
早良街道
地下鉄七隈線
筑肥新道
田島香線
高宮
竹下
トイザらス ららぽーと福岡
BOOKOFF 大橋駅西口店
大橋
笹原
月隈
板付
HOTEL AZ
福岡金の隈店
雑餉隈
南福岡
金山
七隈
福大通り
大池通り
野間大池公園
賀茂
野芥
梅林
福大前
堤
野多目
桧原運動公園
油山片江展望台
南区
博多区
志免町
須恵
須恵町
須恵町運動
公園·若杉の森
新原
宇美八幡宮
宇美町
イオンモール福岡
酒殿
駕与丁公園
米ノ山展望台
大野城
総合公園
大野城跡
大野城市
春日
白木原
太宰府
宝満
ユニバ通り
ケヤキ通り
博多・比田勝